

造園領域

産官学の中堅若手の講演とディスカッション

開催日；**2026年 2月14日（土）14:00～17:00**

第1部 講 演；14:10～16:10

産業の部；14:10～14:50

野間 靖史 氏 株式会社野間造園

「街路樹・公園における緑地管理について」

官庁の部；14:50～15:30

水本 貴司 氏 京都市都市計画局風致保全課

「古都の歴史的景観を守り続ける取組」

学術の部；15:30～16:10

小椋 菜美 氏 兵庫県立淡路景観園芸学校

「外から見た日本の造園・園芸 - 私のランドスケープの原点 - 」

第2部 パネルディスカッション；16:20～17:00

パネリスト

野間 靖史 氏（株式会社野間造園）

水本 貴司 氏（京都市都市計画局風致保全課）

小椋 菜美 氏（兵庫県立淡路景観園芸学校）

コーディネーター

町田 香 氏（京都芸術大学准教授）

開催方法；無料公開 会場参加 /WEB 参加（zoom）ハイブリット形式

※会場は京都経済センター 6-F（地下鉄四条駅付近）で開催予定です。

※会場参加は申し込み先着20名とさせて頂きます。

※会場参加の可否は希望者の方へ別途メールでご連絡致します。

お申込みはこちら



私のランドスケープ

【講師プロフィール】



野間 靖史 氏

平成 23 年に京都産業大学を卒業し、株式会社野間造園に入社。個人邸や寺社、民間施設の作庭や庭園管理・公共事業（主に街路樹・公園の緑地育成管理）に従事する。公共事業では現場代理人や作業責任者を担当し、京都の景観の維持・向上に努めている。



水本 貴司 氏

1995 年に大阪芸術大学環境計画学科を卒業し、2008 年まで民間の造園設計コンサルに勤務。同年 4 月、京都市役所に土木技術職として入庁し、その後造園技術職へ転任。建設局河川整備課、緑政課、建設企画課、北部みどり管理事務所、みどり政策推進室を経て、現在、都市計画局風致保全課の施設整備担当係長として勤務。



小椋 菜美 氏

京都大学大学院地球環境学舎博士後期課程修了、地球環境学博士。国際基督教大学卒業後、生花店や造園会社での実務を経て京都大学大学院で学ぶ。現在は淡路景観園芸学校および兵庫県立大学大学院で教育・研究に携わる。庭園植物の利用や造園技術を軸に、庭園文化の継承と展開を探究している。



【コーディネータープロフィール】

北海道大学工学部卒、京都造形芸術大学（現京都芸術大学）大学院終了、博士（学術）

現在、京都芸術大学准教授、日本庭園・歴史遺産研究センター研究員。専門は日本庭園史、文化財庭園の歴史的調査。

【参加方法】会場参加 / Web 参加（Zoom）ハイブリット形式

【主 催 者】（一財）日本造園修景協会京都府支部

TEL:075-256-1956, メール：kyoto@jalc.or.jp

【後 援】（一社）京都造園建設業協会

（公財）京都市都市緑化協会

（公財）国際花と緑の博覧会記念協会

【申込方法】下記事項をご記入の上、QR コード もしくは kyoto@jalc.or.jp へお申し込みください。

①お名前②ふりがな③ご所属④メール⑤造園 CPD 番号 （お持ちの方のみ）
⑥会場参加希望 / WEB 参加希望のいずれか
※本シンポジウムは造園 CPD プログラムです。

【申込〆切】2026 年 2 月 6 日（金）